

2017.6 Vol.460

関西大学通信

Kandai Style



第40回
総合関関戦

サッカー部(男子)主将 竹下 玲王さん

社会学部
4年次生

サッカー部は部員数約200人、6チームから成り立っています。総合関関戦にはその中から1チームが出場しますが、どのチームが出場したとしても「全員サッカーで日本一」をモットーに、全チームが会場に集まり、ピッチとスタンドが一体となって試合をするのが関大のスタイル。他の大学にはない「一体感」が強みです。公式戦でも意識している関西学院大学との試合ということで、負けられない試合です。一つ一つのプレーに「勝ちたい」という選手の気持ちが込められた、思いが伝わる試合になると思います。特に今年は個人的にも最後の年なので、何が何でも勝ちたいと思います!



サッカー部
ウェブサイト

バレーボール部(女子)主将 吉田 萌乃さん

文学部
4年次生

高身長が部員が増え、ブロックを強みとする今年のチームスローガンは「想いをカタチに」です。ブロックがうまく決まると良いレシーブにつながるので、「勝ちたい」という思いをボールに込めて、次に受ける仲間の良い形で送るということから決まりました。総合関関戦はたくさんの人にも見られるチャンスなので、良いバレー、良い試合を行い、関西大学の勝利に貢献したいと思います! また、試合に出場していない選手にも一人一人の応援歌があり、応援にもこだわっています。バレー部を知らない人でも心から楽しんでもらえる試合をしたいと思います。



バレーボール部
(女子)
ウェブサイト



バスケットボール部(男子)主将 井上 諒汰さん

文学部
4年次生

入学以来バスケットボールをしてきましたが、定期戦や公式戦の全てにおいて関西学院大学に勝てたことがありません。しかし前回の定期戦で初めて関西学院大学に勝つことができました! 今年は新チームへの切り替えが早く、各大会ごとに目標を決め、目標達成に向けて練習をしてきました。リアルな目標を立て、達成できたことがモチベーションの維持につながり、チームの雰囲気も良い方向に変わったと感じます。身長の高い選手の強固なディフェンスを武器に、バスケットボール部が成長して強くなった姿を見せたいと思います。



バスケットボール部
ウェブサイト

第40回 総合関関戦

総合関関戦とは関西大学体育会と関西学院大学体育会が親睦を深めることを目的に1978年に始まり、今年で第40回を迎えます。今年のスローガンは「響」、これには2つの意味が込められています。1つ目は「響き合う」。プレーをする選手たちと見に来てくれる観客の人が互いに感動し合うという意味。2つ目は「響き渡る」。関西大学と関西学院大学がある関西地方から、総合関関戦という伝統ある大会を全国に発信するという意味です。勝利を目指し練習をしてきた選手たちの勇姿をぜひご覧ください。

ハンドボール部(男子)主将 出原 魁斗さん

人間健康学部
4年次生

ハンドボール部には学年を問わず意見を言い合えるフランクさがあり、楽しく活動していますが、これまでの好成績を維持するため、めりはりを持って練習を行っています。ハンドボールの見どころはシュートです。ルールはシンプルでゴールにボールが入ったら1点となります。試合展開も早く、ディフェンスとオフェンスの激しい攻防も魅力の一つです。総合関関戦は大学全体で盛り上がり、各クラブや学生みんなの注目が集まる大会なので、どのクラブも勝利を信じて良い試合をしていると思います。今年も勝ちにこだわり、勝利をつかみたいと思います!



ハンドボール部(男子) ツイッター



関西大学 体育会本部長

文学部
4年次生

大元 恒二さん

関西大学体育会一丸となって関西学院大学に立ち向かい、勝利して全員で喜びを分かち合うためにこれまで努力してきました。体育会全体のチームネーム「KAISERS」とは皇帝の称号を表します。指揮官として戦いに赴く勇姿とスポーツマンシップを重ね合わせて、あらゆるスポーツで常に頂点を目指す姿勢を見習う意味があります。総合関関戦では珍しい競技やたくさんのクラブの迫力ある試合を間近で観戦することができ、皆さんの応援が選手の励みになります。今年は前哨戦から勝ち続け、総合優勝を目指します! ぜひ会場にお越しください。



体育会本部 ツイッター



関西学院大学 体育会学生本部長

人間福祉学部
4年次生

仙元 志帆さん

関西学院大学体育会には「NOBLE STUBBORNNESS(高貴な粘り)」というモットーがあります。これは1920年に庭球部で作られた標語で、当時の部長がアメリカでテニスの試合を観戦した際、アメリカ選手が一球一球粘り強くボールを打ち、試合に勝つ様子を見たことが由来です。昨年の総合関関戦が僅差で勝てたのは選手たちにこの粘り強さがあったからだと感じています。このモットーを胸に、史上初の9連覇を目指し今年も勝つつもりです。これまで見たことがない方も一度見たらそのすごさが分かります。関西学院大学を誇りに感じてもらえる試合をぜひ見に来てください。



第40回総合関関戦

●前哨戦 4勝3敗1引き分け(5月24日現在)

競技名	日程(時間)	試合会場(関西学院大学他)
弓道部(女子-新人)	6月3日(土)12:00~15:00	弓道場
弓道部(男子)	6月4日(日)12:00~15:00	弓道場
陸上競技部	6月4日(日)10:00~15:00	尼崎市スポーツ事業団 ベイコム陸上競技場
重量挙部	6月10日(土)11:00~15:00	学生会館新館地下1階 重量挙場
ラグビー部	6月11日(日)14:00~16:00	第2フィールド
射撃部	6月11日(日)10:00~15:00	関西大学 射撃場

●本戦 6月16日(金)

競技名	日程(時間)	試合会場(関西学院大学)
少林寺拳法部	14:00~16:30	新学生会館2階 合気道場
バスケットボール部	17:30~20:30	総合体育館2階 大フロア(北)

*バスケットボール部:女子(17:30~19:00)、男子(19:00~20:30)

●本戦 6月17日(土)

競技名	日程(時間)	試合会場(関西学院大学)
アーチェリー部	9:30~17:30	第2フィールド 洋弓場
テニス部(男子)	9:30~18:00	第4フィールド テニスコート
バレーボール部	10:00~17:00	総合体育館2階 大フロア(北)
フェンシング部	10:30~15:00	総合体育館1階 フェンシング場
空手道部	11:00~12:00	総合体育館2階 小フロア
相撲部	13:00~14:00	新学生会館1階 相撲場
準硬式野球部	13:30~16:00	第3フィールド 野球場
剣道部	15:00~17:00	総合体育館2階 小フロア
卓球部	15:30~18:00	総合体育館1階 卓球場
サッカー部	17:30~19:30	第4フィールド サッカーコート

*バレーボール部:女子(10:00~13:00)、男子(14:00~17:00)

●本戦 6月18日(日)

競技名	日程(時間)	試合会場(関西学院大学)
テニス部(女子)	9:30~17:20	第4フィールド テニスコート
ラクロス部	10:00~13:00	第3フィールド
ソフトテニス部	10:00~15:00	第1フィールド テニスコート
器械体操部	10:30~17:20	総合体育館2階 小フロア
レスリング部	10:30~12:00	新学生会館3階 レスリング場
合気道部(演武)	10:30~12:00	新学生会館2階 合気道場
ホッケー部	11:00~14:30	三田キャンパス 人工芝グラウンド
野球部	13:00~16:00	第3フィールド 野球場
ハンドボール部	14:40~17:10	総合体育館2階 大フロア

*ラクロス部:女子(10:00~11:00)、男子(12:00~13:00)勝敗には含まない。

*ホッケー部:男子(11:00~12:30)、女子(13:00~14:30)

*ハンドボール部:女子(14:40~15:50)、男子(16:00~17:10)

各試合日時に変更の可能性があります。体育会の情報は関大スポーツ編集局ツイッターから確認できます。



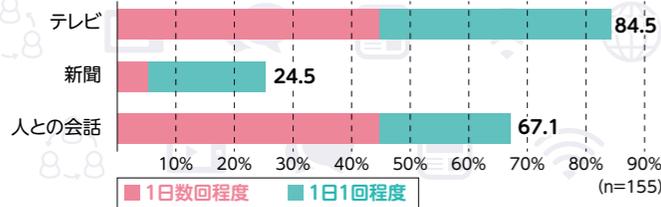
ニュースとの付き合い方とフェイクニュースへの注意点

みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

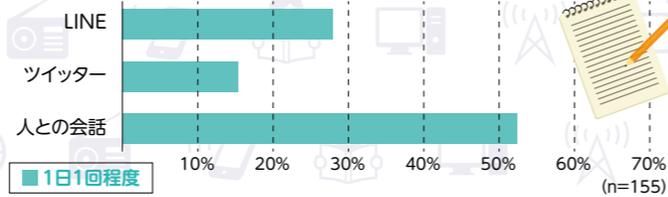
「フェイクニュース」と呼ばれる、インターネット上で発信され、ツイッターなどを通じて拡散する、事実ではないそのニュースが社会で問題になっています。熊本地震ではライオンが動物園から逃げたという、うそのニュースに職員が振り回され、アメリカではフェイクニュースが大統領選挙の結果に影響を与えたといわれています。関大生のニュースとの付き合い方やフェイクニュースへの注意点を考えてみましょう。

【アンケート期間】2017年4月5日～4月14日 【対象】関大生 【回答者】155人

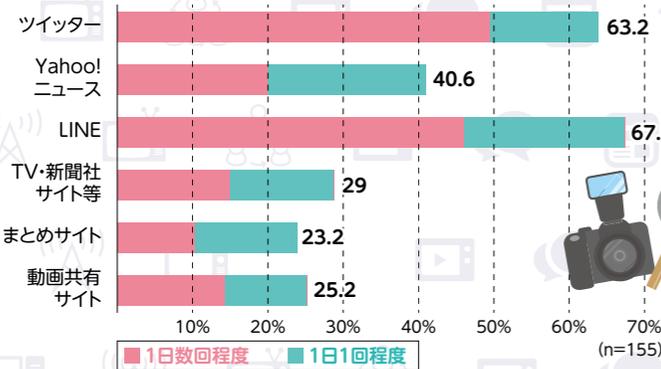
Q あなたは普段、インターネット以外の次のメディアでどのくらいニュースを見たり聞いたりしていますか。それぞれあてはまるものを選んでください。



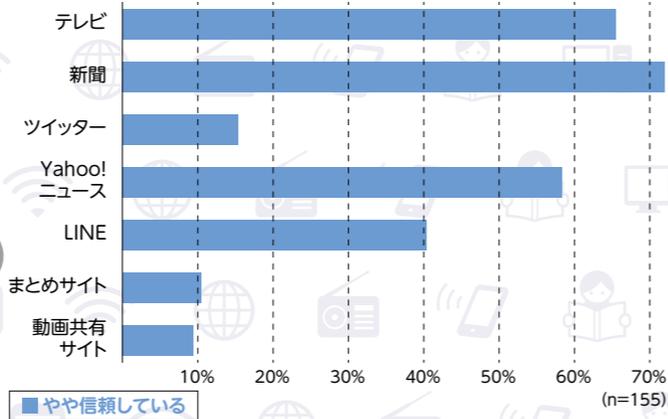
Q あなたが見たり聞いたりしたニュースについて、インターネット上に投稿したり会話したりすることはどのくらいありますか。それぞれあてはまるものを選んでください。



Q あなたは普段、インターネット上の次のサービスでどのくらいニュースを見たり聞いたりしていますか。それぞれあてはまるものを選んでください。



Q ニュースへの「信頼」についてお伺いします。あなたは次のメディアやインターネット上のサービスのニュースを、全体的にどのくらい信頼していますか。それぞれあてはまるものを選んでください。



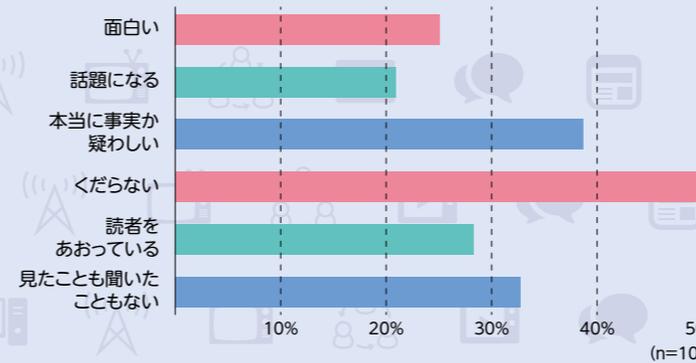
Q あなたが「ニュースが信頼できる」と感じるのは、どのような場合ですか。「信頼」という言葉を使わずに自由に説明してください。

- 有名大学の教授等、その分野の専門家による分かりやすい解説があるとき。**法学部1年次生**
ニュースについて親と討論して、別の可能性や新たな情報をもたらしたとき。**文学部1年次生**
- 速報などで予定されていた番組が中止になったとき。内容の優先順位がちゃんとつけられていると感じる。**文学部1年次生**
同じ内容のニュースを他のメディアでも同じように報道していた場合。**経済学部1年次生**
- 生中継をしていたり、根拠がきちんとなある場合。**政策創造学部2年次生**
複数のメディアやニュースサイトを見て判断する。政治や製品情報などに関してはメディアやレビュアーが金で動かされている可能性があるため2ch(専門板)が一番正確な情報を手に入れることができると思う。**総合情報学部1年次生**
- 非常時においてどうしても信用せざるを得ない場合。**総合情報学部1年次生**
どんな場合でもだいたい信じてしまう。**システム理工学部1年次生**
- NHKなどの公共性の高い機関から発信されている場合や、実際の関係者からじかに話を聞いた場合。**社会安全学部3年次生**

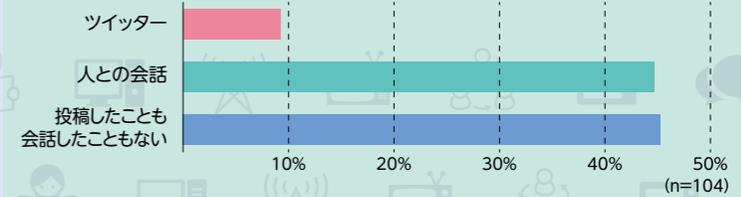
Q インターネット上でフェイクニュースを見たり聞いたりしたことはありますか。(マスメディア等で報道されて知った後に見たり聞いたりしたものは除きます)



Q あなたが最近フェイクニュースを見たり聞いたりした時のことを思い浮かべてください。そのフェイクニュースについて、どのように感じましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



Q あなたが見たり聞いたりしたフェイクニュースについて、インターネット上で投稿したり、会話したりしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



Q フェイクニュースについて、あなたが感じていることを自由に回答してください。

- フェイクニュースをうのみにしてしまふ方にも問題があるが、発信する方にも問題がある。情報元がどこであっても自分で調べて真実かどうか見極めることが重要だと思う。**法学部1年次生**
事実を歪曲して面白おかしくしてしまう方にも問題があるが、発信する方にも問題がある。情報元がどこであっても自分で調べて真実かどうか見極めることが重要だと思う。**文学部1年次生**
- どんな人でもどんなことでも世界中に発信できるようになってしまった。それはとても便利なことだけど、その気軽さがより大きな問題を生む可能性があるため良くない。**商学部1年次生**
フェイクニュースという言葉が初めて知った。送り手は何を目的にしているのだろうか。インターネットにそのニュースを流しても、インターネットで真実は調べられるような気がする。だますためというよりそのうそに注目を集めるためのかなと思う。**社会学部3年次生**

その情報を信じるか信じないかは情報を受けた本人次第なので特に悪いとは思わない。**人間健康学部1年次生**
SNSには無責任な投稿をする人が多いのでフェイクニュースに限らずSNSからのニュースは話題のネタにする程度で、ほとんど信頼していない。**システム理工学部4年次生**

誰かを傷付けるようなものでなく、かつ事実ではないと明記しているもの(虚構新聞など)ならば面白いと思う。**システム理工学部1年次生**
災害が起きたとき、フェイクニュースがよく出るように思う。例えば、東日本大震災のときに「東北に電気を送るから節電しよう」というチェーンメールが届いた。私は「どうやって送るのか。送電のロスが大きいのでは」と思い、そのメールを無視した。**理工学研究科M2**



OPINION OF PROFESSOR 社会学部 小笠原盛浩准教授

ニュースを知る手段としてもニュースを話し合う場としても、会話・LINE・ツイッターが大きな割合を占めています。フェイクニュースを見聞きしたことがあるのは回答者の7割弱でした。フェイクニュースに対しては、事実か疑わしい、読者をあおっていると警戒する一方で、ネタとして面白く、話題になるとも感じており、

約半数の人がフェイクニュースを話題にしています。Yahoo! や LINE は割と信頼されていますが、これらの記事の発信元には新聞社もあれば個人もあります。気になったニュースは、Yahoo! や LINE に載っているからというみをするのではなく、記事の発信元はどこか、他のメディアではどう言っているかなども注意すると良いでしょう。また、友達同士ではうそぞだと承知の上で面白いネタとして話題にしたとしても、インターネット上ではその前提が抜け落ちて、事実と誤解されて拡散する恐れがあることにも気をつけましょう。

次回のテーマは…「データで見るインターンシップ」

次号(7月号)では1ページから4ページまで、インターンシップについて特集します。インターンシップの種類、先輩の体験談や各種データなどをご紹介します。インターンシップをよく知らない方に役立つ情報が満載です。



通信業／営業

西日本電信電話株式会社 (NTT西日本)

久保 開立さん

関西大学第一高等学校出身

2014年法学部卒業

**新たなことに挑戦してきた経験が、
未来を創る仕事につながっています。**

西日本電信電話株式会社の本社に勤務する久保開立さんは、今年で入社4年目になります。光コラボレーション営業部に在籍し、NTT光回線(光コラボレーションモデル)を事業者に卸し、IoTなどのサービスをセットにして販売する拡販業務に従事しています。

「世の中に影響を与えることができ、人に感謝されるような仕事がしたい」と考え、通信やマスコミ業界を中心に就職活動を行い、西日本を中心に幅広いエリアで経験が積めること、地域の活性化に貢献できることから入社を決めました。

入社1年目は、名古屋の家電量販店で光回線(フレッツ光)の販売促進業務を行いながら、代理店や委託会社の販売指導や支援も担当。「お客さまに何を伝えたら契約につながるか」お客さまのニーズを探り、商材の見せ方を模索しました。同時にお客さまの問い合わせにも対応することで、保守対応の大切さを実感したと言います。その後、現在の部署に異動して11カ月。取引先企業を訪問した際には、社長をはじめとした企業のトップ層へ直接提案することが多く、光回線を導入するメリットを納得いただくために、経営者と同じ視点で考える必要があり責任を感じるそうです。学んだのは、相手の要望をとことん聞くこと。課題を見極めた上で、お客さまに寄り添って考える姿勢が身に付いてきたのだとか。「新たなICTの未来を創れることがやりがい」と久保さんは言います。

「新しいことに挑戦するバイタリティーが強み」という久保さんは、高校時代までサッカーを続け、全国大会3位の実力の持ち主です。学生時代には、専攻していたゼミで物事を論理的に組み立て、結論を導く方法を学んだおかげで、構造的に考えたり文章をまとめたりする力が付いたそうです。また、視野を広げるために世界各地を旅したことも。大学でサッカーサークルを作った経験では、たくさんの人をまとめながら新しいものを作っていく力が培われたと言います。「学生時代にしかできないことにチャレンジしてほしい。それが自信になって、後々の人生につながります」とエールを送ってくれました。

ある1日の
スケジュール

- 8:50 出勤
- 9:00 メールチェック
- 9:30 打合せ
- 11:00 提案資料作成
- 12:00 昼食
- 13:00 営業活動
- 16:00 議事まとめ、
翌日の提案資料作成
- 17:00 ミーティング
- 17:30 退社



手帳とペンケース、名刺入れとブルーライトカット眼鏡。
メールチェックや資料作成に欠かせないパソコンが必需品。



Sales Person

VIVA!!

学び易



外国語学部 外国語学科

「プラスワン外国語(ロシア語)2a」 小田桐奈美 准教授

“語学は語楽”の関大ロシア語

一般的に難しいとされるロシア語を、さまざまなイベントを通して楽しみながら学んでいきます。

小田桐奈美准教授が担当する「プラスワン外国語」は、外国語学部1年次で履修する第2外国語としてのロシア語の授業です。今年度からロシア語の教員全員で作成したオリジナル教科書を千里山キャンパス全体で新たに導入し始めました。少人数のクラスなので、一人一人のレベルに合わせた授業を心掛けているそうです。

特徴は、イベントを中心にした「課外企画」。15回目となる5月に開催した「ピロシキ・ワークショップ」は、「食」を通してロシア語やロシア文化への理解を深めることを目的とした企画です。教科書も企画に合わせた内容で構成されているため、基礎を学びながら、イベントで使えるロシア語を身に付けられるようになっています。ロシア語で対話ができないと、ピロシキを食べられないルールを取り入れ、外国語学部以外の学生も楽しみながら参加できる企画でもあります。7月には「プーシキン・リハーサル」というロシア語の朗読コンクールも開催され、ロシア語での詩の朗読や歌唱、またピアノの弾き語りや漫才なども披露されるそうです。ロシア領事館からゲストを招き、領事や文化担当官から優秀な成績を取った学生に特別賞を授与されるということもありました。また学内だけでなく、関西圏のロシア語コンクールにも出場しています。

「ロシアは日本と親交が深い国なのに遠い存在というイメージがあるので、ロシア語の履修者数が少ない。少人数だからこそできる授業にしたい。ロシア語を通して、今まで知らなかった世界について学び、日本でのロシアに対する悪いイメージを取り去ってほしい」と小田桐准教授は考えています。ロシア語を選択する学生は言語自体に興味がある人が多く、難しいからこそ学んでみたいと思う人が少なくないと言います。また、外国語学部の「Study Abroadプログラム」に、2017年度からロシア語の「クロス留学」が加わりました。現在2名の外国語学部生が、キルギス共和国の中央アジア・アメリカ大学で、英語による専門科目を履修しながら同時にロシア語も学んでいます。

小田桐准教授は、「ほとんどの学生がロシア語とは無縁の世界に就職します。他の人が選ばないようなロシア語を選んで、懸命に取り組んだからこそ、新たに別の言語に挑戦したり、あまり知られていないような国に行く機会があったりしても、うまく適応していける」と話します。

「ロシア語を第2外国語として学んでいる学生の第1外国語は英語の場合がほとんどですが、ロシア語以外にもさまざまな言語習得にチャレンジしてほしい。外国語学部の学生は1年間の留学が必修ですが、帰国後は第2外国語を履修する人が減ってしまいます。皆さんにはぜひ続けてほしい」と熱い思いを語りました。



高橋瞳さん(1年次生)

ロシア語に興味を持ったのはソチオリンピックでした。出場している選手の名前を見聞きしているうちにキリル文字を覚えることができました。授業は少人数なので、聞きたいことがいつでも聞け、早く吸収できます。帰国子女として育った経験から、今後は同じ境遇の子どもたちに語学を教える仕事に就きたいです。



部谷舞さん(1年次生)

高校3年のときに、大学との連携セミナーで小田桐先生の授業を体験したことから興味を持ち履修しました。授業は映像や音楽を流すなど工夫がされているので分かりやすいです。将来は旅行会社で添乗員になり、お客さまを案内しながら、現地の人もコミュニケーションを図れるようになりたいです。



外国語学部

小田桐奈美 准教授

ロシア語を担当している9人の先生が協力して、毎年ロシア語に触れることのできるさまざまなイベントを用意しています。イベントを通じて楽しく学べるので、新しい言語として学び始めてほしいと思います。また、学内だけでなく、関西圏のロシア語を学んでいる人たちと交流する機会もたくさん用意しています。「人と違ったことをしてみたい」と考えている人にお薦めの授業です。



52連覇後の1敗—リベンジ狙う速記部

大学のクラブ・サークルの中で、一昨年まで全国大会で実に52連覇というとんでもない記録を残した部があります。文化会速記部です。昨年は2位に甘んじたために今年はそのリベンジを目指します。今どきの学生にはなじみの薄い速記について聞いてみると、いやはやその奥の深さが驚きです。

1分間に300字の猛スピード

速記とは普通の文字と異なる簡略化された記号で、人の話や演説などを素早く書き取り、あとで普通文字に書き直す方法です。普通の人なら1分間に書ける字数はせいぜい50字から70字ですが、プロの速記者だと300字前後は書けます。ものすごいスピードです。

創部63年王者復活目指す

関西大学速記部は部に昇格して今年で63年という伝統を誇ります。しかし録音技術や再生技術が発達したために、いまは速記の需要が減りました。部員数もかつては100人前後いましたが、今は20人です。全国大会に出場する大学は本学のほか、福岡大学、早稲田大学、関西学院大学の4校に減りました。昨年の大会で本学は53連覇を目指しましたが、関西学院大学が総合点910点で1位、本学は惜しくも865点で2位、早稲田大学が575点、福岡大学が115点でした。

速記部の雰囲気ってすごい!

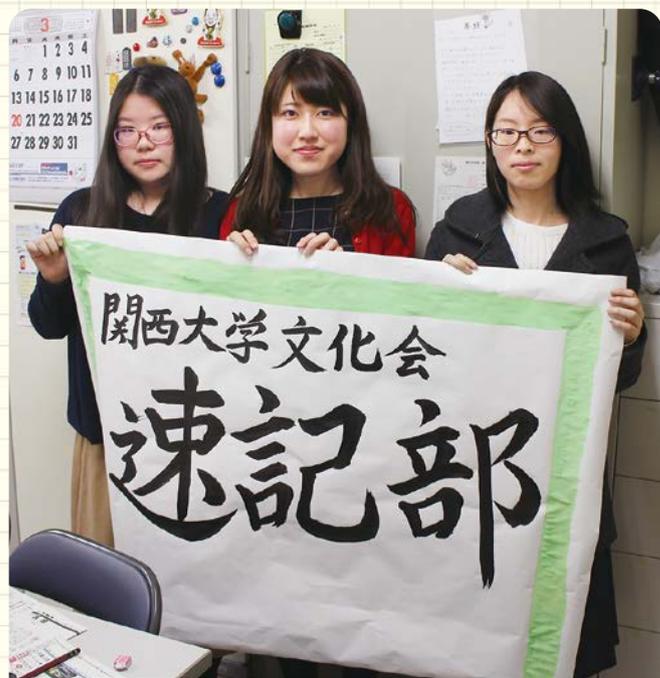
世の中であまり注目されない分野で、なおも王者復活に情熱をかけるのはなぜなのか。主将の二宮愛さん(文学部3年次生)に聞きました。

—速記を始めたきっかけは何ですか?

大学に入ってなにか新しいことをやりたいと思っていた時に速記部を知り、その雰囲気はひかれたからです。

—どんな雰囲気にひかれたのですか?

大会を目指しみんなが一丸となって向かっていくという空気です。大会は12月なので、学園祭が終わると「強練」(強化練習)が始まります。どの部員も1日に2~3時間は、ひたすら書き続けます。新聞記事やウェブの文章を参考に問題文を作って読み上げ、それを速記するのです。私で1分間に280文字、下級生は140字くらい書く人もいます。



再びトップを目指す主将二宮愛さん(文3、中)、田中優美さん(法2、右)、本田美奈代さん(経2、左)

1,900通りの記号を覚える

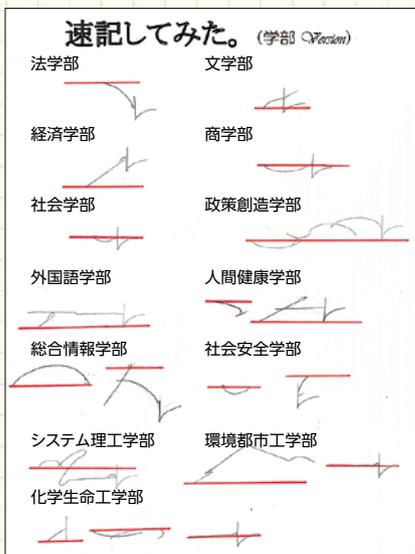
部室には先輩が残してくれた大学ノート2冊が大切に保存されています。1ページあたり25個前後の記号で76ページが埋め尽くされています。それを反復練習で覚えていこうです。二宮さんたちはきっとその達成感で自らを鼓舞できるのでしょう。

現代に通用する速記とは

速記部のウェブサイトにも、速記活用例が紹介されています。その一部を紹介します。

- ◆ さまざまな議会で速記は使われています。
- ◆ 速記なら録音機が拾えなかった言葉も記録可能。
- ◆ 大学では早口の教授の講義をメモするのに最適。テストもばっちり。

あなたも速記部の門をたたきませんか。



▲各学部名を速記するところなる



法務研究科1年次生

小西 優希さん

忙しくても時間を作って何事にも挑戦。



客演指揮の下で演奏する小西さん

今年3月に関西大学法学部を卒業した小西優希さんは、4月から法務研究科(法科大学院)法学未修者(3年修了)コースに進学しています。中学時代に裁判を扱った本を読んだのがきっかけで、「法律の勉強がしたい」と思うようになったそうです。学部1年次には法律と政治を幅広く学び、政治よりも法律を学びたいと考え、2年次から法学に集中することに。3年次から所属するゼミでは刑法を選択し、卒業論文のテーマは「間接正犯の諸形態」に決めました。間接正犯とは、他人を利用し、犯罪を実行することです。

勉強と並行して、3年次まで文化会交響楽団に所属していました。バイオリンを弾きながら、コンサートミストレスとしてオーケストラの演奏を取りまとめていたと言います。単位は2年次までにおおむね取得していましたが、年2回の定期演奏会や他大学の演奏会へのエキストラ参加などで忙しく、3年次では学業に集中できませんでした。そのため、法律について深く学びたいという探求心がより強くなったことが、大学院へ進む原動力になったのだとか。

大学院の適性試験前は、同じ時期に公務員試験を受ける同級生と励まし合いながら勉強をがんばったそうです。大学院を受験する友人は、一緒に第4学舎の授業支援SAをしていた1人しかおらず、どのような勉強をすれば良いか分からなかった小西さん。本格的に試験勉強に取り組めたのは、3年次の12月に開催されたコンサートミストレスとしての最後の舞台である定期演奏会の終了後でした。そのため、繰り返し教科書や参考書を書き写して頭にたたき込んだそうです。「同級生は就職活動を終えていたので、1人試験勉強に取り組むのはつらかったです」と話す小西さんですが、勉強をしながら演奏会への参加も続ける努力家です。その努力が実り、夏に見事大学院に合格。合格通知が届いた4日後には交響楽団の夏合宿に参加するハードスケジュールもこなし、12月まで演奏し続けたそうです。

大学院を修了すると司法試験を受ける資格が得られ、司法試験に合格すると司法修習生として研修を受け、その後、弁護士か検察官か裁判官になります。法曹への憧れは強いのですが、まだどの職に就くのかは決めかねているそうです。どの職業も判例をしっかり理解しなければ意味がないため、大学院では模擬裁判や実地訓練を積むなど、勉強に励みたいと言います。

どんなに忙しくても友人との時間を大切にしてきたという小西さん。「後悔しないように、やりたいことが実現できるように、全てのことに全力で取り組み、さまざまなことに挑戦することが大切」。目標に向かって努力し続ける小西さんだからこそ、その言葉には力強さがありました。

今回は、小西さんからのご紹介で黒木拓哉さん(理工学研究科M1)が登場。お楽しみに!



Yuki Konishi

学部・研究科ピックアップ

法学部 / 法学研究科

気分転換のすすめ

6月という月は、新学期の緊張が緩み生活のペースが定まる一方で、定期試験も夏休みもまだ先という、少し中途半端な時期です。調子が出ない日が続くときは、軽く気分を変える工夫をしてみませんか。大学のキャンパスの中でも、お昼ご飯の場所や図書館の机の位置、教室へのルートを変えるだけで、今までとは違う考えが浮かんだり、会ったことのない人と顔を合わせたりすることがあります。広大なキャンパスの良さを利用して、大学内でも昨日とは違う世界を発見してみてください。

(教学主任 津田由美子教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

海外での日本語教育実習

文学研究科はマレーシア・ヘルプ大学において、「日本語教師養成講座」履修生向けの教育実習プログラムをスタートさせました。今回の参加者6人は、暑いクアラ Lumpur の熱い生徒たちと2週間の実習を体験。日本語を教えることの楽しさと難しさを痛感し、大いに成長しました。



(副学部長 友谷知己教授)

経済学部 / 経済学研究科

ようこそ経済学部へ

新歓行事の特別講演会「聴導犬を通じて見た『日本』とは」の講師に特定非営利活動法人MAMIE理事長の安藤美紀氏をお招きしました。同伴した聴導犬レオンとアーミのかわいさに魅了され、障がい者福祉の現状を知り、触発された新入生にはこれから日本の進むべき道が見えたことでしょう。



(副学部長 菅田一教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

商学研究科進学者の早期卒業制度

本学部は、「商学部・商学研究科5年一貫教育プログラム」による早期卒業制度を導入しています。成績等に関する所定の条件を満たし、大学院入試(10月募集)の口頭試問に合格すれば5年間で商学部卒業(学士の取得)だけでなく、商学研究科博士課程前期課程を修了(修士の取得)することができます。これは、税理士志望者にとっても有意義な制度です。志望者は6月中旬~下旬に教務センターに申し込む必要があります。詳細については教務センターで確認してください。

(副学部長 徳永昌弘教授)

社会学部 / 社会学研究科

50周年を記念する二つの展示

今年で創設50周年を迎えた社会学部にまつわる二つの展示をご紹介します。一つは年史編纂室(博物館と同じ建物です)で開催中の企画展「人と社会をみつめてー関西大学社会学部50年のあゆみー」です。展示は学部がどのように誕生し、どのような学びを目指してきたかに焦点を当てています。もう一つは第3学舎のD棟2階部分にできた展示スペースを利用したもので、村野藤吾が設計した第3学舎のかつての様子パネル写真で紹介されています。ぜひ足をお運びください。

(副学部長 村田麻里子教授)

専門職大学院トピックス

法科大学院

特別演習で学生のニーズに応じた多様な講座を開講

本法科大学院では、22人のアカデミック・アドバイザー(若手弁護士)が、正課授業科目の補充として、基礎知識のインプットから司法試験合格レベルの答案作成能力の養成まで、学生個々の学力に応じて確実に実力が付くよう「特別演習」を開講しています。2017年度の特別演習では、5つの固定クラス[未修者用基礎補完クラス、(導入)論文基礎力修得講座、司法試験論文過去問解説講座、基礎知識マスタークラス(憲法・民法・刑法・民訴刑訴法)、民法事例演習クラス]に加え、講座内容と講師をリクエストできるオーダーメイド型の「特別クラス」を開講し、多様なニーズにきめ細かく対応しています。いずれのクラスも在学生・修了生を問わず無料で受講可能です。

(大住洋准教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

新入生合宿を開催

4月21~22、22~23、29~30の3日程に分けて、新入生合宿が高岳館にて開催されました。この行事は上級生を中心に企画運営され、新入生は班に分かれて大阪の歴史・文化や政治経済の諸問題を分析しました。1泊2日で議論を深めた後、その結果を報告してくれました。



(学生主任 梶原晶准教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

無茶のすすめ

アップル社を創業したのは、電話回線をハッキングして無料で電話をかけられる装置を作った「不良大学生」たちです。彼らにとってそれは、いたずらの延長に過ぎなかったのかもしれませんが、しかしそれがきっかけでアップル・コンピュータは誕生しました。アップル社は、わずか40年前、「不良大学生」たちのいたずらから生まれたのです。決して違法行為を推奨しているわけではありませんが、多少の失敗は大目に見てもらえる若い間に、少し無茶をしてみたいかがでしょう?

(李春喜教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

安田ゼミ 内閣府特命担当大臣表彰

本学部の安田忠典准教授のゼミ活動が、平成28年度「子供と家族・若者応援団表彰」において、「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。ゼミ生たちは、地域子どもたちに自然体験・環境学習の機会を提供すると同時に、自らも人と関わりながら学び合う醍醐味を味わっています。



(森仁志准教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

オリックス観客動向調査やります!

高槻キャンパスの近くにある萩谷総合公園野球場で行われるオリックス・パファローズのファーム公式戦の観客動向調査が今年も7月1日(土)(雨天の場合は7月2日(日))に行われます。どうすれば高槻市民(高槻在住の学生も)にもっと足を運んでもらえるかをテーマに、総合情報学部の徳山研究室の学生たちが調査仮説の構築から質問票の作成、調査・分析まで全てを行い、11月に球団・自治体関係者に提案します。そんな調査への協力がたら皆さんもファーム公式戦に足を運んでみませんか?

(徳山美津恵教授)

社会安全学部 / 社会安全研究科

東京連続セミナーを開催しています

社会安全学部では例年、関西大学東京センターにて本学部教員による連続セミナーを開催しています。本年のテーマは「安全・安心に関わる科学技術の最前線」。社会安全における科学技術の意義と限界についてレクチャーします。4月13日より10週連続で実施していますが、本年も多くの民間企業の方々からの参加があり、講師陣の講義に熱心に耳を傾けています。秋には大阪でも同様のセミナーを予定。本学ならびに本学部の研究成果の社会的発信に取り組んでいます。

(永松伸吾教授)

水泳部

高校3年生の山本真白さんは、3月末に行われた全国ジュニアオリンピック水泳競技大会に出場し、50メートルと100メートル自由形で決勝に進出し、7位と4位に入賞することができました。2017年度も短距離の自由形を中心にレースに出場します。それぞれの大会で良いパフォーマンスができるようがんばりますので、応援よろしくをお願いします。



(水泳部顧問 長谷部記子)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

グローバル化に向けて

理工学研究科では、3月10~11日に、本学でベルギーのルーヴェン大学(Katholieke Universiteit Leuven: KU Leuven)より、3人の先生をお招きして、今後の研究交流と相互学生交流に向けた、研究内容の交流のキックオフ会合を「Japan-EU Research Center International Symposium 2016」と題したワークショップを開催しました。当日は、先方より3件、関西大学より14件の発表があり、その後今後の交流計画の打合わせがありました。

早いもので、春学期が始まってもう2カ月が過

ぎました。新入生の皆さんも大学生活に慣れてきたことと思います。大学では各自の自主性に任せられ、学習のチェックが少ない分、試験が近づいて慌てないように準備を進めましょう。理工系3学部では、基礎科目での勉学の支援のために「学習支援室」を設けています。先輩たちが相談に乗ってくれますので、遠慮なく活用してください。

また、この春完成した1号館増築棟には、耐震改修工事の関係で縮小されていましたが自習スペースも復活しました。こちらも使ってみてください。理工系学部には、4年生、大学院生の研究

のために多くの研究室があります。研究室に慣れてきたこの時期は、気の緩みから、「うっかり」が怖い時期でもあります。理工系学部では、年2回「安全衛生週間」を設け、講演会を開催するとともに、地震対策、電気配線、試薬の保管状況などを各研究室で確認、さらに教員・大学院生による巡回点検で安全を確認していきます。

(システム理工学部入試主任 山本靖教授)



Attention 大学からの重要なお知らせ

SPI試験対策講座

【本学3年次生・M1生対象】

近年、インターンシップの急増に伴い、参加者選考で採用テスト(WEBテスト等)を実施する企業の総数が増えています。また、多くの企業で就職試験として活用されているSPIで、そのスコアが芳しくなく採用選考に苦戦している学生が数多く見られます。

まずは、6月に学内で実施される無料の就職模擬試験(SPI)を受験し、自身の実力を把握しましょう。その試験結果が標準得点61.5以下の方は、9月20日(水)受付開始の「SPI試験対策講座」基礎コースの受講をお勧めします。

6月もしくは10月実施予定の就職模擬試験を受験し、「SPI試験対策講座」を受講して、早期の対策をしましょう! 早期の対策が勝負の分かれ目となることは言うまでもありません。

【基礎コース】(開講キャンパス 千里山・高槻ミューズ・堺)^{★1}
【募集人員】各クラス100人 【受講料・教材費】5,000円

【日程・内容】

回数	日程				内容	
	Aクラス	Bクラス	ミューズ	堺クラス		
1	11/27(月)	11/28(火)	11/20(月)	11/21(火)	非言語能力① 分数計算の基礎等	非言語能力② 食塩水の濃度等
2	11/30(木)	12/1(金)	11/27(月)	11/24(金)	非言語能力③ 料金割引・清算問題	非言語能力④ 仕事算・水槽問題
3	12/4(月)	12/5(火)	11/30(木)	11/28(火)	非言語能力⑤ 表の読み取り問題	非言語能力⑥ 速さの計算、流水算と旅人算
4	12/7(木)	12/8(金)	12/4(月)	12/1(金)	言語能力① 二語の関係等	言語能力② 熟語の構成等
5	12/11(月)	12/12(火)	12/7(木)	12/5(火)	非言語能力⑦ 集合(1)	非言語能力⑧ 集合(2)
6	12/14(木)	12/15(金)	12/11(月)	12/8(金)	非言語能力⑨ 場合の数	非言語能力⑩ 順列と組合せ
7	12/18(月)	12/19(火)	12/14(木)	12/12(火)	非言語能力⑪ 確率の基礎、確率の計算(1)	非言語能力⑫ 確率の計算(2)
8	12/21(木)	12/22(金)	12/18(月)	12/15(金)	非言語能力⑬ チェックボックスの推論	非言語能力⑭ その他(玉手箱-CAB/GAB等)
9	2018年1月中旬				就職模擬試験	

※ 日程・内容等は変更になる場合があります。★1 受講申込時に2018年1月実施予定の就職模擬試験代500円を別途お支払いください。

★2 初回は授業開始30分前からオリエンテーションと教材配付を行います。★3 就職模擬試験の日程については講座内でお知らせします。

※詳細は講座案内2017を参照してください。

【受講申込受付】

キャンパス	受付場所	取扱時間
千里山	エクステンション・リードセンター-事務室	月~金 10時30分~21時 土 10時30分~18時 (本学休業日を除く)
高槻ミューズ	エクステンション・リードセンター-高槻ミューズキャンパス分室	10時~17時 (本学休業日を除く)
高槻	キャリアセンター 高槻キャンパス分室	10時~16時 (本学休業日を除く) ※12時30分~13時30分は除く
堺 (人間健康学部・大学院人間健康研究科生に限る)	キャリアセンター 堺キャンパス分室	10時~16時 (本学休業日を除く) ※12時30分~13時30分は除く

エクステンション・リードセンター(ERC)